



「会場Ⅰ」

我々の仲間、菅間洋子さんは趣味で水彩画を20年以上続けています。今回、深谷で仲間と「ふたり展Ⅱ」～藍色の懐かしい場所へ～を開催しましたので、覗いてきました。

菅間さんは現在、シルバー人材センターで一人暮らし高齢者の見守りと「とねじん」のポスティングを行



「会場Ⅱ」

っております。



「市長&菅間さん」

以前は障害者就労支援施設のパート職員として週5日勤務し忙しい日々を送っていました。退職後、シルバーに入会し、時間的に余裕が出来たので水彩画を再開、今回のふたり展に至りました。

会場は深谷駅近くの七ツ梅酒造跡「精米所煉瓦ホール」。菅間洋子さんの作品は「藍染め和紙に描く水彩画」、和紙、藍、水彩を組み合わせた独自技法で描く花や風景で独特の雰囲気を出しています。



「七ツ梅酒造跡」

七ツ梅酒造跡は、三百年の歴史を持つ蔵元の酒造跡です。精米所煉瓦ホールは大正三年建設の深谷製のレンガ造り二階建ての建物です。



「精米所煉瓦ホール」

また、初日には行田市長もお祝いに、駆けつけて来て頂いたそうです。

文 写真：紺野 仁